molten®
From the Inside Out

モルテン製エアマットレスをお使いの皆さまへ

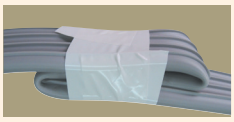
停電時の対応に関するお知らせ

＜停電時にエアマットレスが受ける影響＞

一般的にエアマットレスはその構造上、停電などで電力供給が止まった状態では、時間の経過とともにマット内の空気が少しずつ抜け、体圧分散性が徐々に低下します。その結果、何もしなければ数時間～1日程度で体がベッドの床板に当たる状態（底づき）となるおそれがあります。

モルテン製エアマットレスは空気が抜けにくい構造になっていますが、状況に応じて以下のご対応をお願い致します。

底づき防止（空気の抜けを抑える）ための対応

機種	短時間の停電（3時間程度）	長時間の停電（3時間を超える場合）	底づきまでの時間 通常時	底づきまでの時間 対策時
スコープ ビリーブ アマンダ アメリア オスカー（ハイブリッドタイプ） ステージア（ハイブリッドタイプ）	圧切替の動作はしませんが、底づきの心配はありません 空気が抜けにくい構造になっているだけでなく、仮にエア層の空気が抜けても、ウレタン層が底づきを防止するため、停電時間の長さに関わらず特別な対策は不要です。 （停電時にも安全性が保てるエアマットレスです）			
グランデ	圧切替の動作はしませんが、底づきの心配はありません マット最下部の底づき防止層は、より空気が抜けにくい構造になっているため、底づきの心配はありません。（停電時に利用者様が寝たままでも約2週間は底づきしない状態を維持します）		約2週間	
オスカー（コンパクト収納タイプ） ステージア（コンパクト収納タイプ）	圧切替動作はしませんが底づきの心配はありません 空気が抜けにくい構造になっていますので、短時間停電であれば、若干空気は抜けますが、特別な対策は不要です。	マットカバーを開き、停電用バルブを閉じてください。 停電復旧後は必ず停電用バルブを開いてください。 （停電時に利用者様が寝たままでも約2週間は底づきしない状態を維持します） 	約1日	約2週間
アドバン クレイド		空気抜けを抑えるため、以下の対策を実施してください マット内の空気抜けをさらに抑えることができます。 ①エアホースを折り曲げて、ガムテープなどで固定してください。 ※停電復旧後は必ず、エアホースを元の状態に戻してください。 	約1日 旧タイプ アドバンのみ 約3時間	約1週間
プライムレボ プライムDX・ST エアサポート スーパー介助マット		予め停電実施が分かっている場合は、以下の対策も実施してください。 ②設定を『厚手』や『静止型』モードに変更してください。 厚手　静止型	約3時間	約1週間
フィール	底づきの心配はありません 空気が抜けにくい構造になっているだけでなく、仮にエア層の空気が抜けても、ウレタン層・繊維層が底づきを防止するため、停電時間の長さに関わらず特別な対策は不要です。 （停電時にも安全性が保てるエアマットレスです）			

※底づきまでの時間・・・人が寝た状態での自社検証データ

やむを得ず発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源（正弦波）に近いインバータ式を使用してください。なお、発電機のご使用によって製品に故障や破損が生じた場合、当社の保証対象外となりますことをあらかじめご了承ください。

停電復旧後の安全対策

利用者様の安全性確保のためには、停電中の底づき対策だけでなく、復旧後に停電前の状態に戻すことも重要です。特に各種設定項目が元に戻らなければ、利用者様の身体状況に合わない状態で使用することになるおそれがあります。

モルテン製エアマットレスの安全対策

停電復旧後の再設定は不要です

停電復旧後に各種設定項目が自動的に停電前の状態に復帰する機能を備え、利用者様にとって常に安全な状態を確保しています。

開発・製造 販売元
医療・福祉機器 総合メーカー
株式会社 モルテン
健康用品事業本部　www.molten.co.jp/health
札幌／仙台／さいたま／東京／名古屋／大阪／広島／福岡

ISO9001認証取得
ISO13485認証取得
※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、製造および付帯サービスにて取得

2025.09